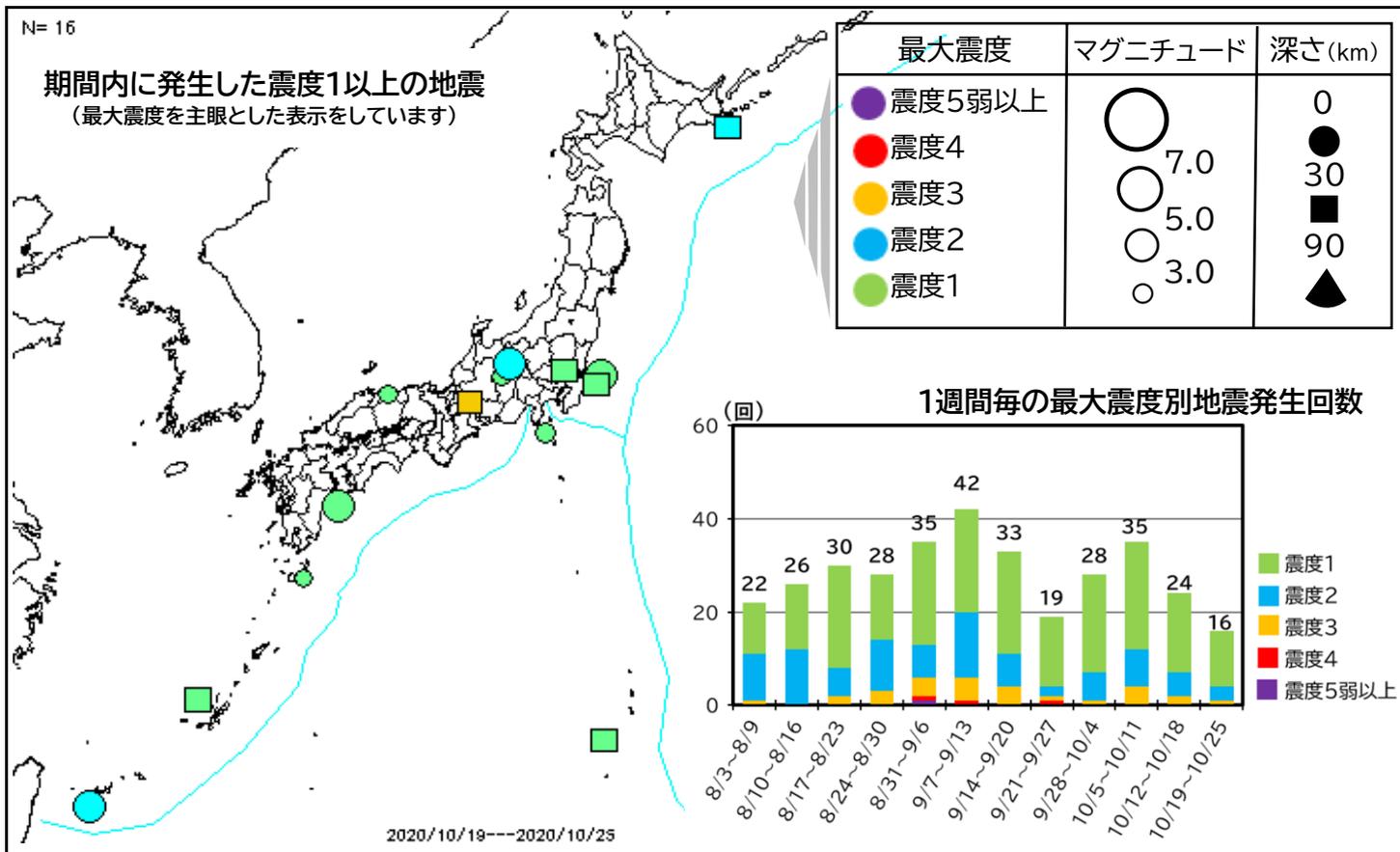


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

■ この期間、震度1以上の地震が16回発生。最大震度は3 ■

- ・震度1以上が16回と低調な地震活動でした。
- ・19日03時27分頃に岐阜県美濃中西部で発生した地震(M4.1、深さ42km)により岐阜市、名古屋市、滋賀県長浜市で震度3を観測。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した横ずれ断層型。この震央近傍は、あまり地震活動が活発な所ではないが、今回の震央の南西数km付近で1998(H10)年4月からまとまった活動がみられ4月22日三重・岐阜県境付近を震源とする地震(M:5.5、深さ8km)で、愛知県津島市、滋賀県永源寺町等で震度4を観測している。

トピックス

■ 濃尾地震 ■ (この週の日が発生した過去の被害地震)

1891年(M24)年10月28日に岐阜県美濃地方を震源とするM8.0の国内観測史上最大の内陸地震が発生した。

- この地震の主な特徴として以下のことがあげられる。
- ・震源域周辺では震度7であったと考えられる内陸地震最大級の地震で、死者7,273人、家屋全壊140,000棟以上となる甚大な被害が発生した。
 - ・根尾谷断層などが地表に出現した。
 - ・天然ダムが出現。
 - ・濃尾平野や福井平野、大阪平野で液状化現象が発生。
 - ・近代的な報道体制が普及して最初の地震災害であり、写真も用いた詳細な内容が迅速に全国に報道された。
 - ・民間ボランティアによる救助活動も行われた(官民連携した救助活動)。
 - ・この地震を契機に震災予防調査会が設置され、地震予知を目指した研究、地震観測、耐震構造、減災などの研究が進み、現在につながる地震防災の出発点となる災害となった。

